

年頭のご挨拶

新年、あけましておめでとう
ございます。

会員の皆様におかれましては、
つつがなく新しい年をお迎えの
こととお慶び申し上げます。

平成二九年は、あの東日本大
震災から七年目を迎えました。が、
基本的なインフラの復旧が進む
一方、まだまだ多くの方が避難
所生活を送っている状況です。

また、七月初めに九州北部豪
雨災害、九月には台風十八号が
日本列島を縦断し全国に大きな
被害をもたらしました。災害に
遭われた皆様に心からお見舞い
申し上げるとともに、一日も早
い復旧・復興をお祈り申し上げ
ます。

さて、北臨技は一般社団法人
へ移行し六年目になりましたが、
公益目的支出計画、事業につい
ても順調に実施できております。



一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会
北臨技 NEWS No.307 25Dec.2017
TEL:011-786-7071/FAX:011-786-7073
http://www.hokuringi.or.jp

今年度は、北臨技の中期プラン
である「メデイプラン2015」の
最終年度となりますが、「組織充
実」「技能向上」「存在確認」を
柱として、今後も職能団体とし
て会員のための事業展開を図つ
て参ります。

近年わが国は、団塊の世代が
七五歳を超える二〇二五年に向
けて「地域包括ケアシステム」
の構築など、医療・介護の提供
体制の整備を進めています。

日臨技では、二〇二五年問題
に向けて、法改正による検体採
取の業務拡大、検査説明のでき
る技師育成、病棟・在宅業務推
進、認知症領域講習会などの事
業を全国展開しております。

さらに、昨年の六月に、安全
で適切な医療提供の確保を推進
するため、検体検査の品質・精
度管理についての基準規定を盛
り込んだ「医療法等の一部を改
正する法律」が可決され、臨床
検査技師が医療現場で担う役割
は益々大きくなると思われます。

北臨技においても検査説明、
認知症対応、精度保障など日臨
技に添った事業を展開してまい
りますので、ご理解とご協力を
宜しくお願い致します。

また、検体採取に関する厚労
省指定講習会は、昨年までに全
国で三万五千二百三〇名の会員
(五七、三%)が受講されてお
ります。北海道でも千五百三五
名(四九、四%)の会員が受講
しましたが、今後は、開催回数

や開催場所を経時的に縮小する
ことが検討されております。

特に北海道は定員割れの講習
会が目立っており、三月の指定
講習会で百五〇名に満たない場
合は来年度より年一回開催とす
るという厳しい提言を日臨技よ
り受けております。

三月の指定講習会は、受付を
開始しておりますので会員の皆
様におかれましては、改めて国
家資格の一部追加であることを
認識し、法的に完全な臨床検査
技師となるよう三月の講習会の
受講を是非ともお願い致します。

最後に、新しい年が会員の皆
様にとって良い年となることを
祈念申し上げて年頭のご挨拶と
いたします。(会長 東 恭悟)

第 202 回北臨技講習会終了報告

12月2日(土) 札幌医科大学臨床教育研究棟第一講義
室にて行いました。冬の開催となり、天候が危惧されま
したが、多少の交通の乱れはあったものの予定通り開催
することができました。

今回は、昨年の北臨技講習会のアンケートで要望が多
かった疑問や講義内容を取り入れ、少しでも会員と講師
が日常検査で出会う疑問について、一緒に考えるきつかけ
となることを願い企画致しました。

その内容は「一般検査Q&A!」みんなで考える日常検
査の疑問」と題し、「穿刺液検査の基本事項から尿定性の
偽陽性・偽陰性について」「尿沈渣の異型細胞の鑑別」「尿
路感染症の病態について」と幅広い4講義でした。参加者
は「若手技師からベテラン技師まで」57名の多数のご
参加を頂きました。普段聴けない穿刺液検査の講義が聴
けたから良かった。普段迷っていた異型細胞の鑑別が少
し理解できたような気がしたなど、概ね満足いただけ
た講習会となりました。(一般検査部門長 望月 真希)

第 33 回北臨技基礎セミナー終了報告

11月18日(土) 岩見沢市イベントホール赤レンガに
て第33回基礎セミナーを開催し、40名の方にご参加い
ただきました。今回も呼吸機能検査の基礎と精度管理に
加え、「心電図の基礎として不整脈と虚血に分け、基礎か
ら実践編まですぐに臨床で活かす事ができる内容のセ
ミナーとなりました。

受講者からは「検査のコツを聞かせてもらえてよかつ
た」「や」「基礎的な知識を整理できて勉強になった」など
大変好評をいただきました。

平成26年より呼吸機能検査の精度管理を学ぶ事を目
的とし、今回を含め全道7カ所で開催いたしました。このセ
ミナーを通じ呼吸機能検査の精度管理の重要性を多くの方
に知っていただけたのではと思ひます。今回でこの内容の
セミナーは終了となりますが、今後も他生理検査についても
基礎から実践を学ぶ事ができるセミナーを開催できればと
考えております。

(生理機能部門長 齋藤 和)

<北臨技サーベイ施設別報告書について>

平成29年度 北臨技サーベイ「施設別報告書」を
10月30日に公開しました。

参加施設が「日本臨床衛生検査技師会ホームページ
<http://www.jamt.or.jp/> から『臨床検査精度管理調査』
⇒『JAMTQC参加施設向けシステム』を選択し、「ログ
インした後『データ分析メニュー』⇒『報告書』から
印刷してください。

ご不明な点は担当者までお問い合わせください。

梅森 祥央 TEL: 011-611-2111 内線 36430
Mail: umemori@sapmed.ac.jp

◆求人情報◆ ...詳細は北臨技事務所までお問合せください...

- 1) 北見市 病院 脳神経外科 正職員(増員) 40歳以下 検体・生理検査
- 2) 八雲町 公的病院 正職員 40歳未満 4/1採用 願書1/19迄
- 3) 小樽市 病院 正職員 検査全般

- 4) 札幌市東区 病院 正職員&パート(勤務時間応相談) 生理検査 2/1頃より
- 5) 札幌市中央区 クリニック 正職員orパート 検査全般・エコー経験者尚可
- 6) 札幌市北区 病院 育休代替契約職員 H30/2/1~H31/4/30
検査全般・心エコー経験者尚可

*今年度末で退会される方はお早目に退会申請を済ませてください。手続きが遅れると次年度会費が口座から引き落とされます!